



ご当地 上場.com 茨城

No.650

茨城県歯科医師会  
Ibaraki Dental Association

November

2023  
令和5年

11

茨 歯 会 報



## Contents

デンタルアイ	1
鶴屋 誠人	
会務	3
理事会報告	9
会務日誌	10
学術委員会だより	13
地域保健委員会だより	21
警察歯科協議会だより	24
スポーツ歯科委員会だより	26
専門学校だより	33
地区歯科医師会だより	34
ピンクのエプロン	37
出澤 有紀子	

### 表紙写真について

令和5年度「歯と口の健康に関するポスター」中学生の部 知事賞 出久根祐樹さんの作品

## もう一つの県条例



副会長  
鶴屋 誠人

2010年9月に茨城県歯と口腔の健康づくり8020・6424推進条例が制定施行されました。この類の条例はいわゆる理念法の一つであり、罰則などによる拘束力はありません。しかしながら行政機関が歯科口腔保健に関する取り組みを策定する際の根拠となっております。例えば健康増進法第8条に挙げられている具体的計画としての「健康いばらき21プラン」において、口腔の健康推進に関わる項目の拠り所となっております。またこの条例と第3次健康いばらき21プランに基づいて2015年に茨城県口腔保健支援センターが設置されて県民への歯科口腔保健が推進されてきております。

### ○健康いばらき21プラン

現在、来年度から始まる第4次健康いばらき21プランへの改訂が行われております。健康いばらき21プランは2001年に策定され、7年後の2008年に改訂、2013年に第2次プラン、その5年後から第3次プランが6年間続き、来年2024年度からの12年間は第4次プランの期間と定められております。現在の第3次プランではその第5章に歯科口腔保健があり、その第1節歯科疾患予防において「乳幼児期」の項では、「具体的取組（施策）」に施設においてフッ化物洗口を推進するという一文が入っていますが、

「学齢期」の項ではフッ化物利用の促進という表現に留まっております。小学校におけるモデル事業が今後継続される根拠としてもらうためにも次期プランでは学齢期における学校でのフッ化物洗口の文言の掲載も必須となるでしょう。また幼児期や高齢者において口腔機能の不全や低下が顕在化している昨今、口腔機能の維持向上についての項目も追加して欲しいと思います。

### ○8020・6424推進条例

この条例も施行されて13年が経過しました。その間大筋で変わるところはないのですが、いくつかの新たなキーワードが浮上してきており、条文の修正や追加を行う時期に来ております。例を挙げますと、我が国は少子化を伴い2007年あたりから超高齢社会になっているため、老化に伴い筋肉や骨、関節などの運動器に障害が起こるロコモティブシンドロームという言葉は耳にする機会がありましたが、その前段階であるフレイルとか「オーラルフレイル」といった単語は策定当時まだ一般的ではありませんでした。加えて「健康寿命の延伸」や「健康格差の縮小」など現在ではキーワードになっている文言も同様でした。またこの間に全国的にも幾度かの激甚災害に見舞われ、当県でも被災

された方々も多く、また余儀なく避難所で過ごされ、口腔ケア等の「災害時支援」が後追い状態になった経験もありました。以上のように条文の表現にも10年ひと昔の感は免れないものもあるため、主に上に記した「」の文言を追加修正して改訂していこうと考えております。

### ○もう一つの県条例

ここでもう一つ健康関連の県条例づくりが進行中です。昨今県内の65歳以上の人口割合が3割を超えるなど少子高齢化や人口減少が進む中で「茨城県健康長寿日本一を目指す条例（仮称）」制定に向け本年度、県議会の自民党政務調査会の中で10名の県議によるプロジェクトチームが立ち上げられました。

この条例は、健康長寿や予防医学を基本理念として具体的には栄養学に基づいた食習慣の改善、生活習慣の改善、介護予防体操などの運動の普及、認知症の予防・早期対応といった健康寿命の延伸につながる項目が挙げられております。これらには多くの職種が関与しますが当然ながら口腔の健康も関わってきます。現在全国

2002	三重県	健康づくり推進条例
2004	秋田県	健康づくり推進条例
2011	兵庫県	健康づくり推進条例
2014	栃木県	健康長寿とちぎづくり推進条例
2016	静岡県	みんなで取り組む健康長寿条例
2017	大分県	健康長寿日本一おおいた県民運動推進条例
2018	大阪府	健康づくり推進条例
2018	山形県	みんなで取り組む健康長寿県やまがた推進条例
2022	徳島県	とくしま健康長寿社会づくり条例

的には表に示した1府8県で制定されておりますが、具体的な項目と県民、行政等の役割を明記して体系的な取り組みまで定められている条例は少ないようです。さらに歯科に関する項目が条文に盛り込まれているのは兵庫県と大阪府の条例に過ぎません。当県ではプロジェクトチームに高橋なおこ議員が副座長の立場で活躍されていることもあり、歯科項目の条文がしっかりと明記されますよう協力していきたいと思っております。



中 学 校 の 部



知事賞 出久根 祐樹  
茨城県立土浦第一高等学校附属中学校3年



教育長賞 前島 圭汰  
常陸太田市立世矢中学校3年



歯科医師会長賞 瀬尾 真生  
守谷市立御所ヶ丘中学校2年

## 令和5年度 歯と口の健康に関するポスターコンクール入賞者名簿

## 小学校の部

賞名	氏名	学年	学校名
知事賞	堀 環	3年	つくば市立手代木南小学校
教育長賞	倉川 湊	3年	鹿嶋市立中野西小学校
歯科医師会長賞	鈴木 日菜	6年	つくばみらい市立陽光台小学校
優 秀	宮本 希音	3年	稲敷市立桜川小学校
	腰塚 愛莉	6年	境町立森戸小学校
	影山 愛花	6年	境町立森戸小学校
	榎戸 喜世良	6年	水戸市立城東小学校
	菅谷 真子	6年	鉾田市立大洋小学校
佳 作	塩谷 拓真	3年	水戸市立大場小学校
	塚本 敦士	3年	水戸市立千波小学校
	藤井 董	3年	桜学園つくば市立栗原小学校
	白石 禱真	3年	常陸太田市立水府小学校
	青島 慎太郎	3年	つくばみらい市立陽光台小学校
	橋本 理央	3年	行方市立玉造小学校
	長谷川 ユリア	3年	つくば市立小野川小学校
	中野 梅埜	6年	水戸市立上中妻小学校
	久保 蒼志	6年	守谷市立大野小学校
	麻生 遥香	6年	取手市立寺原小学校

## 中学校の部

賞名	氏名	学年	学校名
知事賞	出久根 祐樹	3年	茨城県立土浦第一高等学校附属中学校
教育長賞	前島 圭汰	3年	常陸太田市立世矢中学校
歯科医師会長賞	瀬尾 真生	2年	守谷市立御所ヶ丘中学校
優 秀	滝澤 奈央	3年	鉾田市立鉾田南中学校
	竹澤 知世	1年	北茨城市立中郷中学校
	飯島 優	1年	笠間市立笠間中学校
佳 作	原田 真緒	1年	石岡市立石岡中学校
	藤田 結衣	2年	大子町立大子西中学校
	谷中 美月	3年	筑西市立下館西中学校
	奥野 雄大	1年	取手市立藤代南中学校
	須藤 愛栞	3年	茨城県立水戸特別支援学校 中学部

# 令和5年度関東地区歯科医師会 役員連絡協議会開催

令和5年9月28日、令和5年度関東地区歯科医師会役員連絡協議会が、宇都宮市の宇都宮東武ホテルグランデにおいてメインテーマを「ポストコロナにおける歯科医師会の在り方」とし、4年ぶりに関東地区の各都県より役員、理事など約100名が集まり午後1時30分から分科会、午後3時から全体協議会、午後4時より懇親会が開催された。

分科会は、第1分科会（人口減少社会における歯科医師会の在り方、運営について）、第2分科会（未知なる感染症によるパンデミックへの対策及び新型コロナウイルス感染症への取り組みについて）、第3分科会（国民皆歯科健診への取り組み～現状と展望について～）の3つに分かれ、活発な意見交換、協議が行われた。

全体協議会では、まず当番県である栃木県歯科医師会の大野克男会長よりご挨拶があり、退任役員記念品贈呈では、山梨県歯科医師会の三森幹夫前会長、神奈川県歯科医師会の松井克之前会長、栃木県歯科医師会の赤沼岩男前会長、日歯の小佐野みゆき前理事、森末裕行前理事に感謝の意が示された。次に来賓の高橋英登日本歯科医師会会長より次のようなご挨拶があった。2016年をピークに歯科診療所が減少し、勤務歯科医師数が増えている現状から若者が集まる魅力ある業界にしていくことが重要とし、トリプル改定や物価異常高騰、医療DXへの対応、国民皆歯科健診の実現に向けて取り組まれていく決意を述べられた。続いて太田謙司日本歯科医師連盟会長、柘植紳平日本学校歯科医会会長、福田富一栃木県知事からご挨拶をいただき、次期当番県は群馬県と決定した。続いて、議長に大野克夫栃木県歯科医師会会長、副議長に村山利之群馬県歯科医師会会長が選出され、前年度協議会処理報告は榊正幸茨城県歯科医師会会長、協議では分科会の協議を踏まえて日本歯科医師会代議員会で地区代表質問を行うこと、日本歯科医師連盟へ要望書を提出することが決定された。懇親会では山田宏参議院議員と比嘉奈津美参議院議員もご出席、ご挨拶をいただき花が添えられた。



## 分科会報告

### 第一分科会報告

超高齢社会における高齢化現象は歯科医師会にも大きな影響を及ぼしており、将来的にも現役世代の急激な減少が予想されるため、各都県の状況や対処方針の情報共有を行い、取り組みについて協議した。

#### ○入会対策について

各都県に入会率の差はあるが、会員の高齢化と減少傾向については避けることができないため継続した懸案事項となっている。

群馬県歯科医師会では女性歯科医師の積極的な参加と活動の推進を図っている。

山梨県歯科医師会では同一診療所の二人目の会員の入会勧奨。

東京都では法的医療機関の勤務者に対しての入会勧奨。

神奈川県歯科医師会では青年部と歯科大などとの様々な連携や歯科医師会に入会していないと後ろめたい良くないことという雰囲気を作る「後ろめたい大作戦」の決行。

埼玉県歯科医師会では歯科医師としての社会的義務に関する教育の充実、千葉県歯科医師会では歯科医師会に入会することのメリットや魅力の情報発信、茨城県歯科医師会では第二種会員の入会金の減額、栃木県歯科医師会では会員の構成の変化を一括に把握し、適切な対策を行う

など各都県多岐にわたる取り組みをされていた。

#### ○会計の見直しについて

各都県とも会員の平均年齢や年齢の比率が同様であることから、将来的には会員数や都市の規模に関わらず検討の必要性が生じると考えられる。



#### ○収益事業について

デジタル化に伴う医療DXの推進は現段階では未知数な取り組みが多いため今後情報を的確に把握し、活用することで意見が一致した。山梨県歯科医師会からの提案で役員報酬、賞与、退職金について各都県の定位と現状を報告し協議した。

### 第二分科会報告

#### ○新型コロナウイルス感染症への歯科医師会の取り組みについて

各都県とも独自のルートを駆使し、衛生用品の配布、備蓄などを行った。また会員感染時の休業補償のなど支給体制や会員診療所の予防対策など会員への情報提供がなされており、各歯科医療機関はスタンダードプリコーションを含めた感染予



防策を徹底した結果、コロナ禍にあっても診療所におけるクラスターが発生しなかったことが評価に値するとした。

#### ○患者への周知について

風評被害にあった時期もあったが日歯の「歯科医療機関みんなで安心マーク」の活用など患者向けのポスターの掲示や各都県がホームページなどを活用し積極的な情報発信や動画配信によって受診抑制の払拭に努めた。また有事の際にはメディア等による正確な情報提供が最も重要なポイントであることに共通の理解が得られた。

ワクチン接種については各都県に差があったが、東京都は四師会による東京ワクチン接種チームが組織され、歯科医師によるワクチン接種が行われた。

#### ○未知なる感染症によるパンデミック対策について 過去4年間にわたる診療所への対応と大きな影

響を受けながらも歯科医師会が新たに学んできた経験を活かし、未知なる感染症に対する体制の整備、強化、そしてポストコロナにおける歯科医師会の在り方をしっかりと内外に発信することを協議した。日本歯科医師会への今後正確かつ迅速な情報伝達を要望する意見に対し、日歯からは善処する旨の回答に終始した。

#### 第三分科会報告

昨年6月の骨太の方針、2022年の閣議決定により生涯を通じた歯科健診、国民皆歯科健診の実現の気運が高まっている。現状では各都県とも主に法整備されている歯科健診事業を実施しており、乳幼児歯科健診、学校歯科健診、そして努力義務である妊産婦歯科健診、歯周疾患検診、高齢者歯科健診が各都県で既に実施されている。歯周疾患検診については既に20歳30歳に拡大をするように日歯は働きかけているが、実際には地域によって実施に差があり、様々な工夫をされているのが現状である。なお東京都では大学生向け無料歯科健診を実施している。

日歯は現執行部においても、引き続き歯と口腔の健康は全身の健康に重要であるという事を国民に示すため、エビデンスに基づいたシステム作りを進めていると述べた。最後に今後の日歯の取り組みに期待し、各都県より日歯に向けて国民皆歯科健診が法改正に盛り込まれる際の要望を出した。



# 理事会報告

## 第7回理事会

日 時 令和5年9月21日（木）午後4時

場 所 茨城県歯科医師会館 役員室

報告者 柴岡 永子

### 1. 開 会

### 2. 会長挨拶

### 3. 連盟報告

### 4. 報 告

(1) 一般会務報告

(3) 開業予定の歯科医院について

(4) 疾病共済金の支払いについて

(5) 市町村医療福祉費支給制度（市町村単独事業分）の対象範囲の拡大等について

(6) 第73回茨城県社会福祉大会の後援依頼について

(7) 各委員会報告について

医療管理委員会、広報委員会、地域保健委員会、学校歯科委員会、社会保険委員会、専門学校

(8) その他

第13回関東障害者歯科臨床研究会の資料について

### 5. 協議事項

(1) 入会申込みの受理について

承認

(2) 統括マネージャーの委嘱について

承認

(3) 茨城歯科専門学校の学則の一部改正（案）について

承認

(4) 事業資金補助の申請について〔茨城県南歯科医師会〕

承認

(5) 茨城県保健医療部・福祉部との協議会等及び要望事項について

承認

(6) その他

### 【今後の行事予定について】

9月28日（木）13時30分から

関東地区歯科医師会役員連絡協議会  
（宇都宮東武ホテルグランデ）

10月19日（木）16時から

第8回理事会

11月12日（日）13時30分から

第29回茨城県民歯科保健大会

11月16日（木）16時から

第9回理事会

# 会務日誌

- 9月21日 第1回裁定委員会を開催。委員長に若松理氏、副委員長に西野有一氏を選出し、委員の職務について協議を行った。  
出席者 若松裁定委員長ほか9名
- 9月21日 施設との連絡調整会議を開催し、入所・入院する者等の実態の把握、対象施設の選定について協議を行った。  
出席者 堤介護保険部長ほか1名 根本県老人福祉施設協議会理事ほか1名
- 9月21日 第7回理事会を開催。入会申込みの受理、統括マネージャーの委嘱、茨城歯科専門学校の学則の一部改正（案）、事業資金補助の申請について〔茨城県南歯科医師会〕、茨城県保健医療部・福祉部との協議会等及び要望事項について協議を行った。  
出席者 榊会長ほか17名
- 9月25日 県地域包括ケア推進センター第4回全体会議（講演会）がWEB形式で開催され、フレイルについて東京大学高齢社会総合研究機構機構長 東京大学未来ビジョン研究センター教授の飯島勝矢氏が講演された。  
出席者 堤理事
- 9月28日 第7回歯科助手講習会を開催。「共同動作」、「医療安全」について講義を行った。  
受講者 37名
- 9月28日 関東地区歯科医師会役員連絡協議会が宇都宮市「宇都宮東武ホテルグランデ」にて開催される。4年ぶりに参集しての開催となった今回は、メインテーマを「ポストコロナにおける歯科医師会の在り方～地域共生社会を目指して～」として、第1分科会（人口減少社会における歯科医師会の在り方、運営について）、第2分科会（未知なる感染症によるパンデミックへの対策及び新型コロナウイルス感染症への取り組みについて）、第3分科会（国民皆歯科健診への取り組み～現状と展望について～）に分かれ、テーマに沿って協議が行われ、その後は全体会が行われた。  
出席者 榊会長ほか12名
- 9月28日 第2回県総合がん対策推進計画－第五次計画－検討委員会がWEB会議として開催され、茨城県総合がん対策推進計画－第五次計画－の骨格案ほかについて協議が行われた。  
出席者 土屋地域保健委員長
- 10月 3日 第2回県在宅医療推進協議会がWEB会議として開催され、在宅医療における第8次茨城県保健医療計画の素案ほかについて協議が行われた。  
出席者 堤理事
- 10月 3日 第3回いばらきスポーツ・健康づくり歯学協議会運営委員会をWEB会議として開催。いばらきスポーツ・健康づくり歯学協議会運営委員会の今後の活動、日本スポーツ歯科医学会認定MG研修施設、マウスガード講習会について協議を行った。

出席者 渡辺専務ほか11名

- 10月 4日 第109回日学歯代議員会が日歯会館にて開催され、代議員会議長・副議長の選出の件、予算決算特別委員会委員の選任の件、議事運営特別委員会委員の選任の件、名誉会長選任の件について議事が執り行われた。

出席者 榊日本学校歯科医会代議員ほか1名

- 10月 5日 第25回茨城県歯科医師親善地区対抗ソフトボール大会が水戸市総合運動公園にて開催される。今回は河北歯科医師会が主管であり、県内6チームが出場、鹿行歯科医師会「鹿行アントラズ」が優勝を飾り、準優勝は茨城・県西歯科医師会であった。

参加者 101名

- 10月 5日 専門学校にて指定校推薦入試を実施。歯科衛生士科、歯科技工士科の受験者に対し、同日行われた合否決定委員会にて受験者全員を合格とした。

- 10月 9日 学術シンポジウムを「開業医が知っておきたい歯内療法の要点—診断と治療の勘所—」をテーマに開催。岐阜県恵那市開業の林歯科医院林正規先生が講演され、その後ディスカッションを行った。

受講者 68名

- 10月 9日 第6回学術委員会を開催。学術シンポジウムの反省、栃木県歯科医学会、第32回茨城県歯科医学会、第21回福田賞について協議を行った。

出席者 今湊学術部長ほか9名

- 10月10日 第4回摂食嚥下研修会を開催。「摂食嚥下機能訓練の実際②」について実習を行った。

受講者 51名

- 10月11日 第2回8020・6424運動推進部会及び県口腔保健支援センター運営委員会が県庁舎にて開催され、次期（第4次）健康いばらき21プラン「第4章歯科口腔保健」ほかについて協議が行われた。

出席者 榊会長ほか3名

- 10月11日 第6回社会保険正副委員長会議を開催。第6回委員会、審査、理事会、疑義、社会保険指導者研修会、関東信越歯科医師会審査委員連絡協議会、指導対策報告書の様式変更、指導立会い変更について協議を行った。

出席者 大字副会長ほか4名

- 10月11日 第6回社会保険委員会を開催。疑義、社会保険指導者研修会、関東信越歯科医師会審査委員連絡協議会、指導対策報告書の様式変更、指導立会い変更について協議を行った。

出席者 大字副会長ほか21名

- 10月12日 県被害者支援連絡協議会総会が県庁舎にて開催され、茨城県被害者支援連絡協議会会員の活動報告ほかについて話し合いが行われた。

出席者 村居常務

- 10月14日 第44回全国歯科保健大会が秋田あきた芸術劇場ミルハスにて開催。「健口美人で健康長寿！」美の国あきたへ来てたんせを大会テーマに、特別講演等が行われた。なお席上、日歯会長表彰を榊正幸氏（水戸市）が受けられた。

出席者 北見常務ほか1名

10月16日 社会保険指導者研修会が日本教育会館にて開催され、「医療DXと歯科」についての研修内容で2題の講演、3つの研修が行われた。

出席者 大野社会保険部長ほか5名

10月16日 第82回日本公衆衛生学会総会第2回実行委員会がWEB形式で開催された。

出席者 榎会長

10月18日 県肝炎対策協議会がWEB会議として開催され、県肝炎対策指針の改定案ほかについて協議が行われた。

出席者 村居常務



株式会社岩瀬歯科商会 と 株式会社ウチャヤマ は ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社 に社名変更いたしました



HENRY SCHEIN®  
**JoEast**  
ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社

事業所案内

宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷1504-4	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11 1F	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市磯子区中原2-1-19 1F	TEL:045-770-4182
前橋支店	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡上堂支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
盛岡本宮支店	盛岡市本宮6-24-43 1F	TEL:019-635-7750
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770
つくば営業所	つくば市花室940-6	TEL:029-863-0720
仙台支店	仙台市若林区荒井5-7-6	TEL:022-794-7066

改めまして、私たちはヘンリーシャインジャパンイーストです！

We try best! -for healthy and white teeth-



茨城県歯科医師会開催 令和5年度 学術シンポジウム

「開業医が知っておきたい歯内療法の要点 — 診断と治療の勘所 —」

講師 岐阜県恵那市開業 林歯科医院 林 正規 先生

- 講演内容
1. 上手な抜髄の方法 — 抜髄後疼痛はなぜおきる？ —
  2. Per 急発への対応 — 開放療法の謎 —
  3. 合理的な根管形成 — 狭窄と閉鎖の見分け方、開け方 —
  4. 根管洗浄の目安 — 何分洗浄すれば良い？ —
  5. 新しい根管充填・モノブロック法 — 根管充填に加圧が必要だった訳 —
  6. 根管治療では治らない根尖病変の外科療法

日時 令和5年10月9日（月曜日・祝日）10:00～13:20

会場 茨城県歯科医師会館 3階講堂

学術委員会 菊池 正浩

去る10月9日（月）に令和5年度学術シンポジウムが開催されました。昨年は、茨城県歯科医師会館をサテライト会場としたハイブリッド開催でしたが、今年は久々に会場みの開催となりました。

受講者は定員50名のところ68名となり、歯科メーカーの製品展示もあったため総参加者は90名を越え、会館は賑わいをみせました。

今湊良証学術担当常務理事による開会の辞に続

き、榊正幸会長よりご挨拶を頂き、今湊常務理事から講師紹介が行われた後、林正規先生のご講演を開催しました。

以下にその概要を報告いたします。

#### 歯内疾患における診査・診断の手順

1. 主訴の原因が歯か、またはそれ以外かを鑑別する。
  - 1) 医療面接



- 2) 各種診査
2. 主訴の原因が歯であれば、患歯を特定する。
3. 術前診断（推定診断）により、患歯の治療方針を選択する。
  - 1) 歯髄保存療法
  - 2) 抜髄・感染根管治療
  - 3) 外科的歯内療法
  - 4) 経過観察
  - 5) 抜歯
4. 術中診断により補正を加え、最終的な治療方針を決定する。
5. 術後診断により治癒経過が良好であることを確認する。

予後経過不良の場合は、新たな治療方針を立てる。

歯内疾患の治療は①歯髄保存療法②非外科的歯内療法（抜髄・感染根管治療）③外科的歯内療法④経過観察⑤抜歯であり、臨床診断はこの5つの処置からひとつを選択するために行われる。術前診断は、術前の各種診査結果から臨床診断名を導き出し、ひとつの治療方針を選択するための推定診断である。そして、術中診断により補正が加わり、確定診断がなされるとともに最終的な治療方針を決定する。

1. 主訴の原因が歯か、またはそれ以外かを鑑別する。
  - 1) 医療面接・・・
 

問診はYesかNoかの質問であるが、医療面接は現在に至るまでの経緯を自由に話していただき、必要な情報をピックアップしていくなかで、その痛みの原因が、歯か歯では無いのかを診ていく。

#### 疼痛の分類

- ・ 侵害受容性疼痛

- ・ 神経障害性疼痛
- ・ 心因性疼痛

#### 非歯原性疼痛ガイドライン（日本口腔顔面痛学会）

##### 1. 関連痛

- 1) 筋・筋膜性歯痛
- 2) 神経血管性歯痛
- 3) 心臓性歯痛
- 4) 上顎洞性歯痛・・・

症例を供覧。診断的投薬として抗生剤を投薬して症状が消えるかを観察する。

##### 2. 神経障害に起因する疼痛

神経障害性歯痛・・・

症例を供覧。デンタルエックス線画像では異常を認めない。

##### 3. 中枢における神経伝達物質などの生化学的変化 精神疾患または心理的社会的要因による歯痛

#### その他の疼痛

歯肉の傷・・・

見逃しがち。良く歯を磨く人が歯肉に傷をつくり、歯が痛いと言ってくる。

#### 根尖病変と顎骨病変との鑑別

歯髄の生死を診断するには電気歯髄診断器は必ず必要であるが、装置がない歯科医院が多い。電気歯髄診断器で歯髄の生死を100%判断できる訳では無いが、切削診を組み合わせることでより確実な診断が出来る。歯髄が失活していないと根管を原因とした根尖病変は出来ない。

#### 不可逆性歯髄炎を診断する決め手

1. 自発痛または自発痛の既往がある
2. 持続性冷温痛（1分以上）

留意事項：電気診による閾値が極度に高いまたは低い・打診痛がある（全部性歯髄炎の特徴）・う蝕または深い亀裂

成人の歯では、抜髄後疼痛が神経障害性疼痛に移行する場合がありますので、根尖孔部での不完全な歯髄の切断をしないことが大切である。

原因歯の特定に歯根膜麻酔を応用する症例を供覧

上顎右側中切歯及び側切歯の冷水痛を訴え、側切歯の抜髄を希望する医療関係者の患者（遠方から来院して待機診断が出来ない）への歯根膜麻酔器（ヘンケジェクト）を用いた麻酔診。（強い歯根膜炎が起きている患者には禁忌）

患歯の特定 麻酔診の手順

1. 歯髄電気診にて生活歯であることを確認
2. 誘発痛を確認（冷または温）
3. 患歯と思われる歯に歯根膜麻酔
4. 歯髄電気診にて麻酔の奏功を確認（歯髄電気診は歯髄に損傷を与えることなく、局所麻酔の奏功を確認できる。）
5. 誘発痛の有無を確認
6. 痛みが消失すれば麻酔した歯が患歯であり、痛みが消失しなければ、患歯は他歯。

右上奥歯が痛いとの主訴で他院より依頼された破折ファイルを認める急性根尖性歯周炎の症例を供覧  
遠心頬側根に破折ファイルを認めるが、他の根管を薬液洗浄し隔壁と仮封をしっかりと行うことで痛みは消失。

破折ファイルそのものが痛みの原因であることは少なく、根管清掃と二次感染予防が大切である。

既根管充填歯であるにも関わらず温水痛がある症例の供覧

上顎第一大臼歯に近心頬側根管（第4根管）の見落としがあった症例。

上顎第一大臼歯の近心頬側根は、約50%が第4根管を有するとの報告があるが、マイクロスコープが無いと第4根管を発見できないわけではな



く、出現位置は決まっているので細いファイルの手指感覚で探すことは可能。

患歯の特定を誤りやすい症例の供覧

上顎右側中切歯根尖部よりも上顎右側側切歯根尖部にかけてより拡大したエックス線透過像を認める症例。

上顎右側中切歯はバイタルテスト－、上顎右側側切歯と上顎右側犬歯はバイタルテスト＋。

根尖部透過像がある歯であっても、バイタルテストが＋であれば原因歯ではない。生活歯に根管を原因とした根尖病変はできない。

歯内疾患の臨床診断と処置

1. 歯髄保存療法（知覚過敏処置、間接覆髄、歯髄温存療法、直接覆髄）
2. 非外科的歯内療法（抜髄・感染根管治療）
3. 外科的歯内療法（根尖切除・逆根管充填、外科的歯根修復など）
4. 抜髄
5. 経過観察

## 外科的歯内療法適応の代表症例

1. 感染根管治療では治癒しない根尖病変
2. 根尖孔外の異物除去
3. フェネストレーション (Fenestration: 開窓)  
無髄歯の根尖が外皮質骨から外へはみ出している場合は、感染根管治療を施しても治癒に向かわないので、外科的に根尖を削除し、歯根全体を髄皮質の中に入れる必要がある。
4. Through & through lesion

### Through & through lesionの診査

- ①垂直双手診・・・頬舌両方向から手指で押えると波動を触れる
  - ②診麻針の穿刺診査・・・麻酔針を弧状に曲げて頬舌方向に歯肉に刺すと突き抜ける
  - ③CBCTによる診査
5. 補綴物を温存したまま根尖病変を治したい症例

### Through & through lesionの症例を供覧

治療後6ヶ月以上経過するとエックス線写真上で病変の縮小が始まる。

## 抜髄・感染根管治療の基本コンセプト

抜髄・感染根管治療における標準的見解(エビデンスベース)を整理しておく。  
考え方の根本が間違っていると、治療の目指す方向を間違えることになる。

### Takehashi論文(1965)

通常のラットと無菌ラットを用いて露髄後の組織反応を比較したところ、通常のラットでは8日目までに歯髄の1/2が壊死し、長期ではすべての歯髄が壊死した。しかし、無菌ラットでは壊死歯髄や根尖肉芽腫や根尖膿瘍は生じず、2～4週で象牙質被蓋が形成された。つまり、細菌感染がなければ根尖病変は生じないことを明らかにした。

### Sabetiらの論文(2006)

7匹のドイツシェパードの下顎両側の完成した第3第4前臼歯の28歯・56根管を抜髄した後開放し、42日間口腔環境に曝し続けることで根尖病変を形成させた。その後、対照群の14歯は根管拡大・形成、根管洗浄し、根管充填用シーラーAH26Plusを使用して側方加圧根管充填し、歯冠をアマルガム充填した。

一方、実験群の14歯は、根管拡大形成、根管洗浄後、根管充填をしないまま歯冠をアマルガム充填した。

190日後に根尖周囲の状態を病理学的に観察したところ、対照群は実験群と比較してセメント質と象牙質の吸収は少なかったものの、すべての因子で統計学的有意差は認められなかった。

つまり、根管充填した歯と、根管充填しなかった歯の間で、根尖性歯周炎の治癒に差がなく、根管充填の成否は歯内治療の成功に直接関係しないことが示された。

1. 歯内疾患は根管系への“細菌(口腔常在菌)感染”によって生じる。
2. 根管系の細菌を除去(希釈)することによって根尖歯周組織は治癒する。
3. 根管充填の成否は歯内療法の成功に直接関係しない(根管充填は再発予防処置である)

根管内に感染がないかまたは持続していなければ、根尖病変は形成されない。

言い換えれば、根尖病変は、根管内または根尖孔外に感染が持続すると形成される。

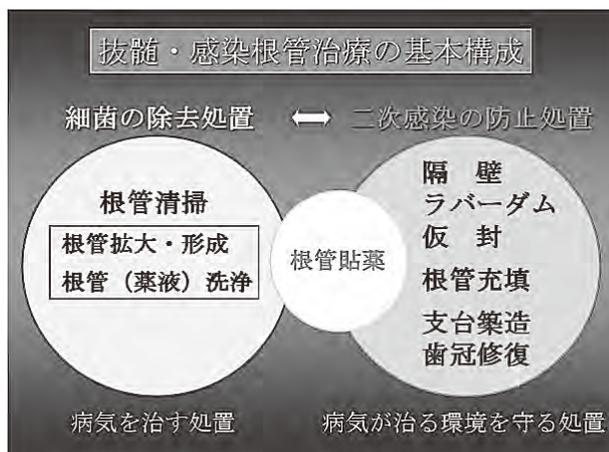
## 抜髄・感染根管治療の基本構成

### 1. 根管治療の基本構成

歯内疾患における根尖歯周組織の治癒は、根管内の「細菌の除去処置」によって導かれ、「二次感染の防止処置」が治癒するための環境を保持

する。したがって、二次感染の防止処置である根管充填の成否は、歯内治療の成功に直接関係しない。ここでのポイントは仮封。仮封は根管充填と同じ重み付けの処置である。

抜髄・感染根管治療の主な目的は、歯髄腔内に感染した細菌を除去し、二次感染させないこと。



### 1) 根管内細菌の除去処置

- ①根管拡大・形成
  - ②根管洗浄〔滅菌水、有機質溶解剤 (NaClO)、  
スメア層溶解剤 (EDTA)〕
  - ③根管貼薬〔水酸化カルシウム水溶液  $\text{Ca}(\text{OH})_2$ 〕
- ※根管内細菌の除去は、根管拡大・形成および根管薬液洗浄が主力であり、根管貼薬は、複数回治療において根管内残存細菌の再増殖を防ぐ補助的役割を担う。

### 2) 治療中の二次感染の防止処置

- ①口腔清掃・患歯の清掃 (PMTc、エアアブレーション、含嗽剤)
  - ②滅菌器具の使用
  - ③隔壁 (隣接面齶蝕、歯肉縁下齶蝕、歯冠崩壊歯には隔壁が必要である)
  - ④ラバーダム
  - ⑤仮封
- ※隔壁・ラバーダム・仮封により細菌が根管内に侵入する経路を遮断する。  
これにより根管の清掃状態を維持することが

できるので、根尖歯周組織が治癒に向かう。これらの処置が不完全であると根管内への二次感染が持続するので、いつまで経っても根管は清掃できず、結果的に根尖歯周組織は治癒に向かわない。

## 根管形成の目的と手順

### 1. 目的

- 1) 歯髄および感染象牙質の機械的除去
- 2) 根管洗浄液が還流するための形態形成
- 3) 根管充填に適した形態形成

### 2. 手順

- 1) 根管上部形成  
ストレートラインアクセス (straight line access)
- 2) ネゴシエーション (negotiation・穿通)  
IAF (Initial Apical File: 最初に抵抗をもって根尖孔に到達したファイルをIAFとする)の決定
- 3) グライドパス (glidepass・予備拡大)
- 4) 初期フレアー形成⇒  
MAF (Master Apical File: 根尖孔拡大に用いた最終ファイルをMAFとする)の決定⇒  
最終フレアー形成

### 根管フレアー形成の目的

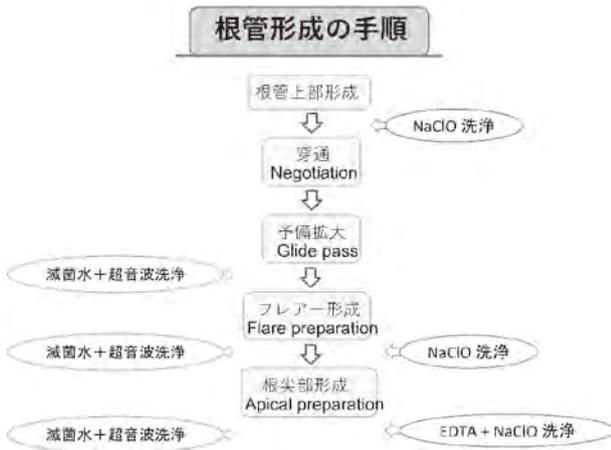
フレアー形成は最小限でも根尖孔部を #25 の大きさに拡大し、5/100 ~ 8/100 (05 ~ 08 taper) テーパーの形態に形成する。これは、根管洗浄液が根管内を還流するために、また、根管充填のための最小限の大きさの形態である。

### 5) 根尖部形成 (アピカルストップの付与)

根尖孔部形成は、抜髄時に歯髄を根尖孔部で確実に切断するために、また、感染根管における根尖孔部の清掃を行うために必要な操作である。さらに、根管充填時にガッタパーチャポイントやシーラーを根尖孔部から溢出させ

ないための抵抗形態を付与することでもある。しかし、これから将来はシーラーが主たる根充剤となる場合は、アピカルストップの必要性は無くなると思われる。

狭窄根管の症例を供覧して、穿通と予備拡大までを丁寧に行うことが、根管形成の鍵であることを説明。



## 根管洗浄法

●根管形成途中は滅菌精製水で頻繁に洗浄を繰り返す。

1. 超音波スケーラーに#15 ファイルチップを装着し、作業長-1mmにマジックで印記する(洗浄安全域)。

2. 滅菌水+超音波振動で象牙質削片を除去する。

●根管貼薬および根管充填直前は薬液洗浄を行う。

1. 3% EDTA (スメアクリン・日本歯科薬品) を2分間作用 (スメヤー層の溶解)

17% EDTA (17%EDTAクリーナー・BSA) は1分以内



2. 滅菌水+超音波振動を15～30秒作用 (薬液の除去)

3. 根管内にNaClOを浸して白い泡が出なくなるまで洗浄する (細菌除去の目安)。

2.5～6.0%の濃度で使用することが標準的見解

4. 滅菌水+超音波振動を15～30秒作用 (薬液の除去)

根管洗浄における超音波振動と音波振動の使い分け  
まずは超音波振動と滅菌水で根管内の象牙質削片を除去後、根管内に次亜塩素酸ナトリウム (NaClO) を満たして音波振動 (SmartLite Pro EndoActivator・デンプライシロナ) を使用する。

根管内にNaClOを浸して攪拌すると白い泡が長時間出続ける症例を供覧・・・水酸化カルシウム [Ca (OH)<sub>2</sub>] を貼薬し、次回の根管洗浄時に根管内にNaClOを浸しても泡が出ないのを確認して根管充填。

## 根管貼薬

1) 根管洗浄後、根管の歯冠側2/3の滅菌水を吸引する (根尖側1/3の滅菌水は残す)。

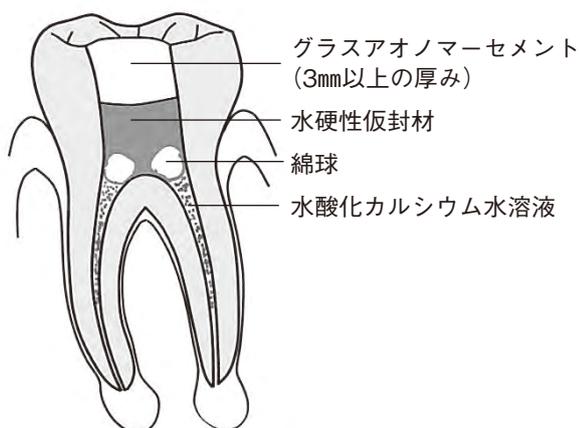
2) 水酸化カルシウム粉末を滅菌水と混和し、低速回転のペーストキャリアー (#40レンツロ) にのせて、根尖孔から2mm手前を目安に送り込み、水酸化カルシウムの飽和水溶液で根管を満たす。

3) ホルマリンクレゾール (FC) の貼薬後の有効期間は短く、かつ多量に貼薬すると象牙細管に浸透し歯根吸収を起こす可能性がある。ホルマリン製剤は発がん性もあるので使用しない方が良いと思われる。

## 仮封 (暫間充填)

仮封は、根管治療途中の二次感染の防止処置として極めて重要な役割を果たす。清掃された根

管の状態を次回来院時まで保持するためには、封鎖性に優れ、咬合圧に耐えうる強固な仮封材が必要である。仮封は、歯冠部歯髓腔の内部に水硬性仮封材を充填し、外部に3mm以上の厚さでグラスアイオノマーセメントまたは低粘稠レジンを充填する二重仮封が適している。酸化亜鉛ユージノールセメントや水硬性セメントだけでは封鎖性に乏しく、次回来院時までには2次感染がおきる可能性が高い。



仮封は根管充填と同じ重みづけの処置である。

#### モノブロック根管充填 —根管充填に関する動向—

根管充填はsealing材つまり封鎖材である根管充填用シーラーと、それを根管壁に密着させるためのコア材・ガッタパーチャで構成されていた。しかし、シーラーは封鎖材として根管封鎖の中心的役割を担っているにもかかわらず、なんとなく根管充填における脇役的存在であった感は否めない。これは加圧根管充填における加圧の対象がガッタパーチャであったこと、ならびにシーラーは硬化収縮することから、シーラーの占有体積は最小限にするべきだと考えられていたことに由来する。

現在でも、ガッタパーチャの加圧根管充填が最高の根管充填方法だと考えられている。しかし、世界の歯科界の動きをみると、DCsealer、キャナルシーラー BG、メタシールsoftペーストが開発・発売され、根管充填用シーラーは主根管充填材としての地位を固めつつある。これにいち早く反応

した会社がデンツプライシロナ株式会社（本社）であり、2021年に垂直加圧根管充填器具（シルダーパーティカルプラグー、ヒートキャリアー）の製造を中止した。

モノブロック根管充填とは、根管充填材と根管象牙質とが一体化したモノブロック構造で接着封鎖される根管充填のことである。この方法では、シーラー自体が主根管充填材となる材質であるため、シングルポイント法またはシーラー単独の根管充填でも長期の根管封鎖が確保される。

#### 根尖切除術（apicoectomy）の術式を症例にて供覧

1. 歯垢染色・口腔内清掃・・・歯ブラシ・エアフローによる清掃
2. 抗菌剤・消炎鎮痛剤の術前投与
3. 浸潤麻酔
4. 切開・歯肉骨膜弁剥離
5. 骨開削・根尖病変摘出・根尖切除（削除）
6. 残存肉芽の除去（鋭匙・超音波スケーラー&滅菌水）
7. 逆根管充填窩洞形成（超音波レトロチップ）
8. 逆根充（MTA・SuperBond C&Bラジオオペーク・レジ系根充材）
9. 縫合（PEモノフィラメント）・止血確認
10. 冷罨法
11. 投薬（抗菌剤・消炎鎮痛剤）

講演後、阿部英一学術委員長ならびに菊池正浩学術副委員長の司会でディスカッションが行われ、講演内容に関して様々な質問にお答えいただきました。とくに、学生時代に習った根管開放処置および次亜塩素酸ナトリウムと過酸化水素水の交互洗浄は、臨床上意味がないことを強調されました。鶴屋誠人副会長より閉会の辞の後、シンポジウムは終了しました。加えて配付資料には、狭窄根管と閉鎖根管の見分け方と開け方といった、興味深い内容にも触れていただいております。ま

た、上手な抜髄の仕方として、抜髄後疼痛はなぜ起きるのか、そして残髄炎が起きたときどのような処置をしたら良いのか、痛みと排膿が止まらない感染根管症例への対応の仕方についても詳細にご説明いただいております。講演内容とあわせて明日からの臨床に非常に参考になりますことに感謝の意を表します。



## 「第44回 全国歯科保健大会」報告

地域保健委員会 土屋 雄一

令和5年10月14日（土）、秋田県秋田市あきた芸術劇場ミルハスにおいて、『「健康美人で健康長寿！」美の国あきたへ来てたんせ』のテーマのもと、第44回全国歯科保健大会が開催されました。本会からは、北見英理地域保健担当常務理事、地域保健委員会から土屋が出席いたしました。

はじめに、オープニングアトラクションとして、小学生から大学生（+社会人）と幅広い世代の方で構成される弦楽オーケストラである秋田青少年オーケストラによる演奏が行われました。素晴らしい生の演奏に感動しました。

続いて、佐々木嘉一大会実行委員会副委員長（秋田県歯科医師会副会長）による開会宣言が行われました。

次に、藤原元幸大会実行委員会委員長（秋田県歯科医師会会長）より「人間は太古の昔より、口で命を頂き、愛を紡いできました。口は“命の入り口、心の出口”と言われるとおりに、口を美しく清めることは、命に感謝し、真心を伝えることに繋がります。我々医療従事者は、こうした本来的な意味合いを国民に理解してもらうように努力しなければなりません。そのためには歯科医療従事者のみならず多くの人を巻き込み、様々な職種との連携を推進する中で、“国民が生涯安全に美味しく食べて、楽しく話すことを通じて健康寿命を延伸すること”を実現しなければならないと考えております。“食を味わう”ことや“言葉を伝える”ことは、人が人らしく人生を謳歌するために欠か



せないものであるからです。一方で、他の全身疾患に比べ、子どもから高齢者まで、全世代を通じて罹患率が高いことが歯科疾患の特徴でもあることから、短期的な取り組みで成果を出すことは困難です。その点において、人生100年時代を見据え、歯科健診におけるPHR（パーソナルヘルスレコード）の活用など、我々にとっても患者側にとっても断片的ではなく、継続性のある歯科保健事業が健康寿命の延伸に寄与することが期待されております。本大会を機に、全身の健康の維持・向上及

びそのために不可欠な歯科保健の恒久的な重要性を広く発信し続ける第一歩となれば幸いです。」との挨拶がありました。そして、武見敬三厚生労働大臣（浅沼一成厚生労働省医政局長が代理出席）、高橋英登日本歯科医師会会長、佐竹敬久秋田県知事、穂積志秋田市長と挨拶が行われました。

歯科保健事業功労者表彰では、厚生労働大臣表彰（多年にわたり歯科保健事業に携わり、地域における公衆衛生の向上のため著しい功績のあった個人および団体の表彰）個人57名と1団体、日本歯科医師会会長表彰（地域社会の歯科保健衛生の普及向上、改善および意識高揚等、実践活動に著しい功績のあった者、きわめて困難な条件の下で献身精励、顕著な功績があった個人および団体の表彰）個人57名と1団体に対し、表彰が行われました。茨城県歯科医師会からは、大字崇弘先生（土屋が代理出席）が厚生労働大臣表彰、榊正幸先生（北見先生が代理出席）が日本歯科医師会会長表彰を受けられました。お二人の先生方、誠にありがとうございました。

引き続き、次期開催県である熊本県の沼川敦彦健康福祉部長が挨拶を行いました。

舞台転換時のアトラクションとして秋田県・秋田市関連のPRビデオが上映された後、なまはげ太鼓音打屋-OTODAYA-による、和太鼓や篠笛といった和楽器を駆使した迫力ある演奏が行われました。

次に、特別公演として、「拝啓、石井浩郎です。～野球と歯科と健康と～」と題して、元プロ野球選手で参議院議員の石井浩郎氏による講演が行われました。

最後に、「健康寿命の延伸のためには、個人の努力のみに頼らず、住んでいるだけで自然と健康行動が身につく社会環境づくりが必要です。そのためには、歯の萌出前からのう蝕予防教育や、高いう蝕予防の恩恵を受けられる集団フッ化物洗口の普及、歯周病対策、高齢期に問題とされるオーラルフレイルを見据えた成人期（働き盛り世代）か



らの予防の推進など、世界有数の長寿国である我が国だからこそ先んじて課題解決に取り組むことが重要です。国民皆歯科健診が議論される中で、「受けないといけないから受ける歯科健診」ではなく、国民がその必要性を理解し、自発的に「受けたいから受ける歯科健診」を目指さなければなりません。本大会を機に、全身の健康の維持・向上のためにライフステージに対応した切れ目のない歯科口腔保健施策を展開するとともに、ライフコー

スアプローチに基づいた歯科口腔保健施策を推進するべくその重要性を恒久的に広く発信し続けます。」などとする大会宣言（日本歯科医師会山本秀樹常務理事）を採択し、次回開催県である熊本県歯科医師会伊藤明彦会長に大会旗を引き継ぎ、畠山桂郎大会実行委員会副委員長（秋田県歯科医師会副会長）による閉会宣言にて第44回全国歯科保健大会は閉会となりました。





## 茨城県警察本部「鑑識専科」

防災危機管理小委員会 馬場 耕平

令和5年9月11日、茨城県警察学校研修センター講堂にて茨城県内の警察署刑事課鑑識系の新人を対象とした「鑑識専科」の講義・実習を担当させていただきました。那珂署警察歯科医の小林克男先生、そして水戸署警察歯科医である私が出向いてまいりました。

講義内容としましては、基本的な口腔内所見採取に用いる文言の説明から始まり、口腔内所見採取・デンタルチャートの作成の方法や現場での注意点や、実際にどの様に身元確認がおこなわれるのか、照会結果報告書についての説明なども細かに行われました。併せて実際のデンタルチャートを作成したケースを提示したり、実際に犯罪捜査において口腔内所見の採取がどの様に役に立ったか、またその資料を作成するにあたって現場で困ったことや現状での問題点、および解決方法などについても説明が行われました。

講義をされた小林先生からは、捜査対象者であると考えられる患者のカルテの照会方法については特に注意して欲しいとの指導がありました。これらの適切な手続きについて、茨城県歯科医師会会員に周知されているかというところがあり、今後の課題になると思います。

口腔内写真の撮影について、実際の現場では鑑識の方をお願いすることが多いこともあり、撮影の方法等の実習を行うこととしました。何を必要としているのか、どの様に規格化された資料とし

て残してほしいのか、実際に撮影する際に口角鉤やミラーをどの様にして使用すると撮影し易いのかを、受講生をご遺体役にして体験してもらいました。実際に口腔内写真を撮影することが初めて



の方が大半で、撮影に四苦八苦の様子でした。

最後となりましたが、今回このような機会を頂きました茨城県警察本部鑑識課 課長代理 柏繁樹様、課長補佐 荻津真一様、係長 小林直哉様

に感謝いたします。

以後も警察歯科医の育成のため、茨城県警と茨城県歯科医師会共々協力体制を構築していき、有事の際に備えることができたらと強く感じます。



## いばらきスポーツデンティスト資格更新に係わる 講習会開催報告

いばらきスポーツ健康づくり歯学協議会運営委員会 荻野 義重

令和5年9月3日（日）午前10時より茨城県歯科医師会館3階講堂におきまして「いばらきスポーツデンティスト資格更新に係わる講習会」を開催いたしました。

今回の講演会は、いばらきスポーツデンティスト（以下、IBSD）認定の更新に係わる講習会となっております。IBSDの資格は、いばらき国体前年度までに国体における救護所派遣などを目的として設置した茨城県歯科医師会独自の認定資格でもあり、5年の更新制となっております。資格を更新するためには講習研修を1回以上講習する必要があります。今回の講演会も講習会の一つとして受講して頂く事で更新の資格を得られます。

コロナ感染症もかなり治まり5類に引き下げられたと言うことで、人の流れも出てきましたが、まだまだ一カ所に集まり講演会を聞く等抵抗が多い先生方も多く、この講演会もハイブリッド形式（WEB併用）の形を取りました。

会場参加を60名定員、3人掛けのテーブルに1人とし、距離も十分取り換気も十分に行い開催しました。やはり会場ではほぼ半分近い人数とWEB参加者が同じく30名ほどの参加を得ました。

講演1「いわてスポーツデンティストの歩みとこれから」と題して岩手県歯科医師会理事の鈴木俊一先生をお招きしてご講演を頂きました。



鈴木俊一先生

鈴木俊一先生の学歴・職歴を簡単に紹介します。岩手医科大学歯学部を卒業、同大学第二補綴学講座入局その後（医）広仁会 城西歯科クリニック勤務を経て小鳥沢歯科クリニックを開業。（一社）盛岡市歯科医師会理事を経て（一社）岩手県歯科医師会理事。

スポーツ歯科では、日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト、日本スポーツ歯科医学会 専門医、ワールドカップラグビー2019 釜石会場 医務室担当歯科医師などを歴任されています。

いわてスポーツデンティスト（ISD）の先生方にはいばらき国体に向けての色々なノウハウ等教えて頂き、また講演会などにもお呼びして情報交換等を重ね、今のIBSDの認定にも深く関わって頂きました。このような経緯もあり、今までのISD

の先生方が現在まで行ってきた活動やこれから先の新たなビジョンについてお話をいただきました。

いわて国体での各救護所派遣から花巻東高校野球部へのマウスガード提供など、口腔内の外傷予防から「いわてスーパーキッズアスリート発掘・育成事業プロジェクトチーム メンバー」のサポートや各種大会へのサポート事業など、いかに行政と係わっていけるのか、関わりを持つためにはどのような事をしていかなければいけないのかについてお話されました。さらに歯科医師会として各競技団体にどのように係わっていけるのか、歯科医師会の中でもスポーツ歯科委員会が地域歯科保健委員会と関わりを持ったり、あるいは学校歯科保健委員会と関わりを持つなど歯科医師会の中での連携や県民に対してどのようにアプローチしていくかを御指導いただきました。例えばオーラルフレイル対策を兼ねたスポーツ吹き矢に着目して、スポーツウエルネス協会と活動と一緒にするなど他職種の方々と活動を共にして行く事など、生活習慣予防、健康維持・増進の取り組みも重要とされ大変貴重な講演内容でした。

講演2「勝者のマインドセット」For All Ibaraki と題してU20日本代表ヘッドコーチ 大久保 直弥 氏をお迎えし座談会形式で講演頂きました。

学歴・職歴を簡単に紹介します。法政大学卒業後サントリー所属、ラグビーワールドカップ1999・2003年度日本代表として出場、引退後はサントリーサンゴリアス コーチ・監督。サンウルブスアシスタントコーチ・ヘッドコーチ、2023年9月からU20日本代表ヘッドコーチを務めます。

今回の座談会は株式会社TSNAGU深谷氏をファシリテーターとしてお迎えし、対談形式で行われました。サントリー所属サンゴリアスの社員選手／プロ第1号としてラグビーワールドカップ出場経験からエディヘッドコーチと共にFWコーチ、



大久保氏・鈴木先生



HCコーチその後インターナショナルHC等を元に常勝チームに共通しているトレーニングやメンタル、環境などまた、その逆でもある勝てないチームの共通点などの事例を元に試合に負けた時の対処法について、ヘッドコーチになられた時の考え方、失敗した事をプラスにしていく方法、これからのチーム作りには人と人の繋がりが大切である事、また色々なスキルを身につけることや未来に向けて何を残すのか等、誠に興味深い内容の御講義をいただきました。

最後に茨城ラグビーへのアドバイスとして何が出来るかをしっかりと考えていくことの大切さを認識しながら取り組んでいくことの大切さを説かれ、今後のさらなる活躍を期待して講演会を終了しました。

最後に榊会長から両講師に感謝状が渡され、盛会に終わりましたことをご報告させていただきます。



## 太陽生命カップ (全国中学生ラグビーフットボール大会)に参加して

いばらきスポーツ健康づくり歯学協議会運営委員会 鈴木 聡美

9月16日(土)から3日間、太陽生命カップ(全国中学生ラグビーフットボール大会)の担架搬送補助にいばらきスポーツデンティストとして参加して参りました。

新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類感染症」に変更されて例年通りケーズデンキスタジアム水戸で2面、ツインフィールドで2面、合わせて4面のグラウンドで試合が行われました。

中学生ラグビー日本一を決める今大会は、全試合スカパー!で10月9日から配信予定ですので、担架搬送補助係としてミスが無いよう緊張しまし

た。茨城県からは、茗溪学園中学校が出場しました。

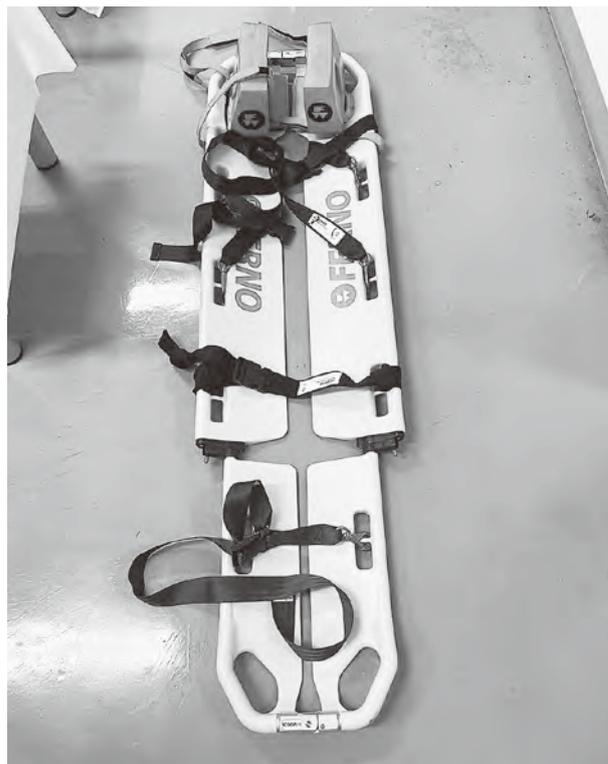
17日、私はケーズデンキスタジアム水戸メイン競技場の担当でした。

女子2試合、男子2試合行われましたが、男子選手が強い腹痛と吐き気で退場になりました。マッチドクターから担架の指示は無かったのですが、選手は腹部を抱えて歩けそうになく、荻野委員長が車椅子はどうだろうかと提案して下さい、急遽、医務室から車椅子を見つけて選手を搬送することが出来ました。医務室でマッチドクターによる診察が終わり会場に戻ると直ぐ、グラウンドに選手が

倒れているのではないですか！休むことなくマッチドクターの診断と「担架準備！」の指示。実は去年の反省から、スクープボードに腰回りのストラップがあるとより安定して負傷者を固定、搬送できる事から、深谷副委員長が水戸スポーツ振興協会に購入をお願いし、前日の晩に4会場全てを回りストラップを装着してくださいました。倒れている男子選手はとて大きく、6人の男性が担架を持ち上げるのですが、追加したストラップのおかげで安定性が格段に向上しました。ドクターから「立つとき腰を傷めないように2段階で上げるよー」と掛け声があり、起立しても選手は安定していました。私は担架の少し前を歩き、足元や担架の幅に当たる障害物がないか、医務室のドアを広く開けたりと小さい事ですが、自分にできることを考えました。空になった担架を医務室から会場に戻した時、ラグビー協会の方やレフリーの方に「お疲れ様」と声を掛けて頂き、とても嬉しくやりがいを感じました。

その後も、前日足に怪我をしていた男子選手が我慢の限界になり泣きながら試合続行を希望していましたが、マッチドクターの判断で退場になりました。中学生ラグーマンのラグビーにかける想いを目の前で熱く感じました。そのような中、近くで救急車のサイレンが鳴っています。後にサブ競技場から選手が救急搬送された事を知りました。17日の試合終了後、13時から出場歓迎のセレモニーが華やかに行われました。協会会長、水戸市長の挨拶をはじめ、女子中学生チアガール部やダンス部のパフォーマンスがあり、会場は若さと希望にあふれ 活気が戻ったように思いました。

17日と18日で男子選手に絞って、今使用しているマウスガードについてのアンケート調査を行いました。集計結果は次の通りです。選手と保護者



スクープボード

にもマウスガードは市販のものよりも歯科医が作成するオーダーメイドの方が怪我の予防や競技パフォーマンスに優れている事を周知し、我々歯科医も技術のブラッシュアップが必要だと考えます。

決勝戦の結果は、中学校男子の部、茗溪学園中学が東生野中を14対12で下して優勝。大会に花を添えました。ラグビースクール男子の部は横浜ラグビースクール、都道府県等代表女子の部は大阪府女子代表が優勝しました。

最後に、今年は3日間連日の猛暑日となりましたが、無事太陽生命カップを行えたことに感謝し、来年も将来日本のラグビー界を背負って立つ中学生選手の熱戦が繰り広げられるこの大会が開催される事を祈願いたします。最後までお付き合いいただきありがとうございました。

## 【太陽生命カップ】スポーツマウスガードについてのアンケート集計結果 (319 件の回答)

Q1. 現在使用しているマウスガードはどこで購入しましたか？

歯科医院でカスタムメイド	287 件
専門の業者から購入	7 件
市販のものを使用	25 件

Q2. お値段はおいくらでしたか？

0 円	13 件
1 ～ 1000 円	58 件
1001 ～ 5000 円	168 件
5001 円～ 10000 円	14 件
10000 円以上	12 件
分からない	27 件
無回答	27 件

Q3. そのマウスガードはいつから使用されていますか？

小学生から	25 件
中学 1 年生	88 件
中学 2 年生	79 件
中学 3 年生	93 件
分からない	6 件
無回答	2 件

Q4. 今お使いのマウスガードに満足していますか？

はい	293 件
いいえ	26 件

(※Q4でいいえと答えた方) その理由は？

- ・少し歯茎が痛い
- ・前まで使用したものより歯に引っかかる
- ・歯の形が変わってしまったから
- ・フィットしていない
- ・少し分厚い
- ・歯に合っていない
- ・歯茎が痛む
- ・歯科矯正中の為
- ・邪魔だから
- ・気持ち悪い
- ・歯科医院のマウスピースを使いたいから
- ・発言しにくい
- ・つけづらい
- ・試合中や練習中にあまり気にならない
- ・ちょっときついし色が透明
- ・奥歯のところが、ゆるゆるだから

Q5. マウスガードを装着していたにも関わらず口の中をケガをしたことがありますか？

はい	33 件
いいえ	284 件
無回答	2 件

(※Q5ではいと答えた方) どのようなケガですか？

下の歯が折れた (欠けた)	3 件
唇をケガした	18 件
その他 (口の中が切れた)	2 件
(歯茎から血が出た)	1 件
(歯茎が削れた)	1 件
(上の前歯から血が出た)	1 件

# 第23回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会 開催報告

いばらきスポーツ健康づくり歯学協議会運営委員会 荻野 義重

令和5年8月19日（土）午後4時より佐賀県佐賀市「ホテルグランデはがくれ」に於いて「第23回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会」が開催されました。

今回は茨城県歯科医師会理事の柴岡先生と荻野が参加してきましたのでご報告します。

午後4時定刻に開始され司会は岩手県歯科医師会日本スポーツ・健康づくり歯学協議会幹事長の鈴木卓哉先生が務められ、開会の辞も述べられました。挨拶として日本スポーツ・健康づくり歯学協議会会長の杉山義祥先生が登壇され、長年この協議会の会長を務められた事のエピソード等を含め経緯について述べられました。

続いて第23回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会大会長で、当番県でもある一般社団法人佐賀県歯科医師会会長 門司達也先生から歓迎のご挨拶があり、続いて来賓には一般社団法人日本スポーツ歯科医学会理事長の安井利一先生がご紹介されましたが、羽田空港の飛行機の機材トラブルでまだ到着していないということで、到着次第ご挨拶をして頂くこととなりました。

以下、報告に入ります。

## 報告事項（1）令和4年度日本スポーツ・健康づくり歯学協議会事業報告について

第22回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会が令和4年6月18日（日）午後1時30分より栃木県宇都宮市「宇都宮東武ホテルグランデ」に於いて



WEB開催されました。

当番県である一般社団法人栃木県歯科医師会からの報告に続いて、いばらき国体の報告を荻野が行いました。日本スポーツ・健康づくり歯学協議会の在り方について協議があり、この会の解散を杉山会長から提出されましたが否決されることとなりました。

その後とちぎスポーツ医科学センター センター長の池田達昭先生より特別講演が行われました。



## 報告事項（2）令和4年日本スポーツ・健康づくり歯学協議会会計収入支出決算書報告と監査報告について

### 国体報告

「とちぎ国体における歯科からのスポーツ支援一般社団法人栃木県歯科医師会および県内公認スポーツデンティストの活動報告」と題して一般社団法人栃木県歯科医師会常務理事印南秀之先生から「いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会」の報告がなされました。その後議事に入りました。

## 協議事項（1）日本スポーツ・健康づくり歯学協議会の解散について

前回、栃木県「宇都宮東武ホテルグランデ」に於いて同解散について否決され、持ち越しの議事となっていましたが、「第23回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会」に於いて賛成多数により本協議会は解散することとなりました。長年この協議会に携わってこられた岩手県歯科医師会顧問の箱崎守男先生、本会会長の杉山義祥先生、そして事務局を勤められた岩手県歯科医師会事務局長 浅

沼浩氏には感謝の意を表します。

## （2）日本スポーツ・健康づくり歯学協議会会計決算残金について

今までの功績などを鑑み今回の協議会参加者全員の賛同を得て一旦事務局に寄付をすることによって採決されました。以上を持って第23回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会を終了しました。

続いて懇親会が同「グランデはがくれ」1階ハーモニー A に於いて18時より開催されました。はじめに日本スポーツ歯科医学会理事長の安井先生から御挨拶をいただきました。安井先生は羽田空港で2時間程の待機を強いられ、協議会に間に合うことができませんでしたが、懇親会には駆けつけてくださいました。今回の開催県が佐賀県ということもありまして、(北海道からの参加の先生もいらっしゃいましたが) 37名の参加と寂しい感じもありました。しかしながらこの機会しかご挨拶できない先生方にも沢山お目にかかることができ、有意義な時間を過ごす事が出来ました。

今後も再びこのような集まりが出来ますよう期待をしております。



## 【宿泊研修】 — 歯科技工士科 —

9月26日（火）・27日（水）の2日間、歯科技工士科2学年（4名）と、引率（野口教務副部長及び専任教員、小田倉の2名）で宿泊研修に行ってきました。今回は学生の希望により、北海道登別への旅行となりました。

朝早くからの移動で、茨城空港から新千歳空港へ、そこから登別に向かいました。

登別マリパークニクスでは、キングペンギンを間近で見たり、のぼりべつクマ牧場では、クマたちに餌をあげたり、街中では野生のキツネが姿を現すなど、たくさんの動物を愛でることができました。

また、地獄谷では自然の作り出す壮大な風景に圧倒され、温泉では心身共に癒されました。



のぼりべつクマ牧場にて

学生もコロナ禍が明けての久しぶりの旅行ということで、大変楽しそうな様子でした。

今回のことで、鋭気を十分に養ったと思います。今後は、国家試験や卒業、就職に向けて気持ちも新たに頑張ってもらいたいと思います。

（文責 小田倉）



## 夏の感謝祭～地引網編～

日時：令和5年8月20日（日）午前6時

場所：久慈浜海水浴場

(社)日立歯科医師会 佐藤 慶尚

朝日が眩しくなってきた早朝6時、会場には元気な子ども達を含め総勢116名の参加者が集合しました。まだ海水浴客の姿もない早朝の海は静かで、参加者達は地引網漁船が到着するまでの時間を各々ゆったりと楽しんでいました。スタッフとして準備に追われる私はというと、朝日の眩しさに行方を阻まれ、サングラスを持ってこなかったことを早々に後悔していました…。



いよいよ地引網を引いた漁船が砂浜へ近付き、網を引くロープが参加者の元へ手渡され地引網がスタートしました。地引網初体験という方々がほとんどだったので、漁協の方にロープの引き方やコツを教えてもらいながら、みんなで息を合わせ、力を合わせて一生懸命に網を引きました。

実は前日から海が荒れ模様で、漁協の方からは「今日は、あまり魚は獲れないかもしれない…」と聞いていたのですが、実際に引き上げた網からは次々と魚の姿が！大量のカマスに小ぶりの鯛、若干数の舌平目に、驚きの伊勢海老やサザエも！次々

と姿を現す高級魚に一同歓喜しました。中には初めて生きた魚を触るといふ子どもがいて、恐怖心を感じながらもやっと魚を掴めた時の笑顔はとても印象的でした。天候の影響なのか、網には魚よりも大量の海藻が掛かってしまい、その分網の重さがかかり増してしまったため想像以上に網を引くのに苦戦しましたが、それでも最後までみんなで力を合わせて網を引きあげることができ、結果大漁で大成功の地引網となりました。



地引網終了後は、お楽しみのゲーム大会がスタートしました。豪華景品を懸けての子ども対象の抽選会では、抽選券を握りしめ、会長から次々と発表される当選番号をドキドキしながら待つ子ども達の目がキラキラと輝いていました。一方、親からの視線は、願いを通り越し圧力とも言える迫力がありました。ちなみに我が息子はもちろん一等の東京ディズニーリゾートチケット狙いでしたが、末等景品で番号を呼ばれてしまい、早々に希望を失いがっかりした顔にはスタッフ一同大笑いでし

た。

無事一等当選者が決まった直後、会長からのサプライズで、再度一等と同じ景品を賭けて全員参加のじゃんけん大会が行われることが分かった時の参加者のボルテージは最高潮！おそらくみんながこの日一番の集中力を発揮したのではないかとと思われるほど真剣なじゃんけん大会となりました。

朝早くから汗を流し、力を合わせ、笑いあり、涙ありの夏の感謝祭はこうして無事幕を閉じました。当日は限られたスタッフでの運営だったため色々とはならない点もあったかと思いますが、会場の清掃や準備、地引網の際の声掛けやフォロー等、沢山の先生方にお世話になりました。ご協力頂きました先生方、本当にありがとうございました。会長には自腹で景品を準備していただき、感謝申し上げます。

真夏の砂浜でのイベントはスポーツ合宿並みに体力を消耗するということを知り、皆さんからの「来年もやって欲しい！」という嬉しいお言葉を実現するためには、まずはスタッフの増員…と真っ先に思った私でした。



## 祝 日本歯周病学会「地域活動賞」受賞

日時：令和5年10月13日（金）

場所：出島メッセ長崎

（社）日立歯科医師会 佐藤 慶尚

平成29年から日立歯科医師会と日立製作所日立健康管理センターが協働で、企業における歯科健診の導入が従業員の口腔・全身健康に及ぼす影響について、調査研究を実施してきました。その活動が高く評価され、今回の受賞の運びとなりました。

会員の皆様のご協力・ご尽力のお陰で受賞することが出来ました。厚く御礼申し上げます。前会長間宮高弘先生の企業への働きかけなどの功績は大きく、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

さて、授賞式には立原会長、北見専務、佐藤の3名で前日から長崎に入り準備を整え参加しました。当日は晴天に恵まれ、絶好の学会日和(?)でした。授賞式でスピーチの予定がある立原会長はいつも通り早起きをして、長崎の街並みを散策されていました。

第66回秋季日本歯周病学会学術大会の総会後に、地域活動賞授賞式と受賞講演が行われました。

受賞講演は（株）日立製作所日立健康管理センターの中川徹先生が「歯科健診・歯科クリニック地域連携モデル（日立モデル）の実際」を講演し、会場は大きな拍手に包まれておりました。



## ピンクのエプロン



〒310-0911 茨城県水戸市見和2-292  
 公益社団法人  
**茨城県歯科衛生士会**  
 TEL・FAX 029-253-5807  
<https://ibaraki.jdha.or.jp>  
 E-mail jimmu@ibaraki-dh.net

(公社)茨城県歯科衛生士会 東西茨城支部 出澤 有紀子

私が歯科衛生士の道を選んだのは、高校時代の進路を決めるときに、友人が言った「歯科衛生士は女性ならではの資格だよ」という一言でした。友人は歯科衛生士になりたいという気持ちが強く、私も彼女の話聞いて、進学を決めました。

国家試験合格後は一般診療所に就職し、結婚を機に退職しました。「いつかはまた歯科衛生士として働きたい」という気持ちを持ちながら、出産・育児と忙しい日々が過ぎていきました。子供たちも大きくなっていく中で、歯科衛生士の友人から、保健センターでの健診の仕事を勧められました。ほかの仕事をしながらですが、歯科衛生士の仕事に携われる嬉しさがありました。最初は自分で大丈夫なのかという不安もあり、実際10年近く歯科

衛生士という職種から離れていたもので、きちんと仕事ができるのかという不安もありました。せっかく声を掛けていただいたので、このチャンスを生かそう!と思い、是非やりたいと担当の歯科衛生士さんへお願いしました。「とにかくやってみる」そう心に決めて健診を見学させてもらったことを思い出します。

働きだしてみると、先輩方はとてもやさしく分からないときはアドバイスをくれます。今でも日々勉強することはたくさんあります。別の仕事と両立しながらですが、今後も先輩方の意見を参考にしながら、歯科衛生士として働いていることに感謝し、自分なりに努力を続けていこうと思います。



# みんなの写真館

Photo Gallery

令和5年度 歯と口の健康に関するポスターコンクール 優秀賞作品

## 中学生の部



滝澤 奈央



竹澤 知世



飯島 優

## 小学生の部



宮本 希音



腰塚 愛莉



影山 愛花



榎戸 喜世良



菅谷 真子

## 会員数

令和5年9月30日現在

地 区	会員数(前月比)
日 立	115
珂 北	144
水 戸	159
東西茨城	73
鹿 行	101 -1
土浦石岡	177
つ く ば	146 ±1
県 南	175 +1
県 西	152 +1
西 南	97
準 会 員	11
計	1,350 +1

## みんなの写真館写真募集!

このページには皆さんからの写真を掲載できません。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員	1,111名
2種会員	96名
終身会員	132名
準会員	11名
合計	1,350名



**Ibaraki Dental Association**  
公益社団法人 茨城県歯科医師会

## 茨 歯 会 報

発行日 令和5年11月  
発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地の1  
電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075  
ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>  
E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進  
編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。